

教育研究業績書の記入について

次の点に留意の上、記入すること。

1. 教育研究業績書（その1. 「研究業績等に関する事項」）

- ①「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- ②「著書、学術論文等の名称」の項について
 - ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」,「(学術論文)」,「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順（過去→現在）に通し番号を付して記入してください。
 - イ 著書については、書名を記入してください。
 - ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文についてはその旨を明記してください。
 - エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。記載の順番は、報告書・訳書・書評・辞典項目・発表・作品・作曲・演奏・競技等の順に記載してください。
 - オ 美術関係等の業績として作品集を提出する場合は、別途1部提出してください。なお、作品集については、審査終了後に返却が可能ですので、提出時にその旨を申し出てください。
 - カ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- ③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、学会発表の場合は、単独・共同の区別を明記してください。
- ④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
 - ア 著書については、発行所を記入してください。
 - イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ（p. ○—○、またはpp. ○—○）等を明記してください。
 - ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑥「概要」の項について
 - ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
 - イ 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要（200字程度）のほか、以下の事項を記入してください。
 - ・本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入すること）。
 - ・本人の氏名（下線を付すこと）を含む著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）（当該著書等に記載された順に記入すること）。
 - ・当該著書等が外国語で著されている場合、著者等名（共著の場合は本人の担当部分の章、節、題名も含む）はその外国語で記入するとともに（ ）書きで訳文を記入してください。当該著書の概要は日本語のみで構いません。
 - ・学会発表の場合は、口頭発表・ポスター発表の別、筆頭発表者・連名発表者の別を明記してください。

*記載に当たってのその他の留意事項

- ①発表については、その結果である抄録等の名称・発行者を明記する。
- ②作品・演奏・競技については、できるだけ具体的な説明を付記する。
- ③作曲に係る業績については、出版の日付と発行所及び初演の日付と会場を記載すること。

(再演については不要)。

- ④記録・賞・段位・専門的資格・特許等については、上記の各項にできるだけ具体的な説明を付記する。
- ⑤その他特記すべきものがあれば「参考」として記載する。

2. 教育研究業績書(その2. 「教育上の能力に関する事項」「職務上の実績に関する事項」)

- ①「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ②「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。それぞれの事項について200字程度記載してください。

④「教育上の能力に関する事項」の例

ア 「1 教育方法の実践例」について

○授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等

○マルチメディア機器を活用した授業方法

イ 「2 作成した教科書、教材」の例

○授業や研修指導等で使用する著書、教材等(研究業績の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)と表記すること。」)

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

○採用決定の際等における評価内容

○各大学における自己点検・評価での評価結果

○学生による授業評価、教員による相互評価等の結果

○上記以外で学長、学部長、諸機関等が行った評価(但し、客観性をもったものに限る)

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

○大学から受け入れた実習生等に対する指導

○職能団体の依頼による研修指導等

○企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修

○大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

オ 「5 その他」

○大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等

○国家試験問題の作成等

⑤「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1 資格、免許」

○教員、医師、看護師等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ 「2 特許等」

特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

○大学との共同研究

○企業提携・研究開発等の担当実績

○各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員

○行政機関における調査官等

○研究会・ワークショップ等での報告や発表

○調査研究、留学、海外事情調査等

○上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等

エ 「4 その他」

○職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

- 論文の引用実績等
- 大学教育改善に関する団体等の活動の概要
- 教育実績に対する受賞歴等
- 外部資金獲得の実績等
- ※ 上記にとらわれず、積極的に記載すること
- 職務上の実績に関する事項例
- 大学教員の場合
 - ・大学における学生指導
 - ・大学、学部運営に関する諸活動
 - ・社会的活動
- 小中高等学校教員の場合
 - ・学校における優れた教科指導
 - ・生徒指導等の方法
 - ・生徒、校長、保護者等による評価
 - ・社会的活動
- 教育委員会等関係者の場合
 - ・現職教員を対象とした研修・講座等の概要
 - ・教育委員会での職歴、職務内容
 - ・社会的活動
- 企業、官公庁等の研究者の場合
 - ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
 - ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割
 - ・社会的活動
- その他、企業・団体等関係者
 - ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績
 - ・社会的活動
- 情報技術者関係の場合
 - ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）
 - ・社会的活動
- マスコミ関係者の場合
 - ・執筆した記事の概要
 - ・作成した番組の概要
 - ・社会的活動
- 医師や看護師等医療技術者の場合
 - ・症例研究会での発表等の活動
 - ・社会的活動
- 福祉その他社会的活動の関係者の場合
 - ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- スポーツ等実技関係者の場合
 - ・指導者としての経歴・実績・資格
 - ・社会的活動
- 芸術関係者の場合
 - ・作品の概要
 - ・社会的活動
- 博物館、美術館等関係者の場合
 - ・担当した展覧会の概要
 - ・執筆・監修した展覧会図録の概要・社会的活動

教育研究業績書（その1. 「研究業績等に関する事項」）

教育研究業績書				
				平成 年 月 日
				氏名
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1				
2				
3				
:				
(学術論文)				
1				
2				
3				
:				
(その他)				
1				
2				
3				
:				

教育研究業績書（その2. 「教育上の能力に関する事項」「職務上の実績に関する事項」）

教育研究業績書		
		平成 年 月 日
		氏名
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書, 教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		